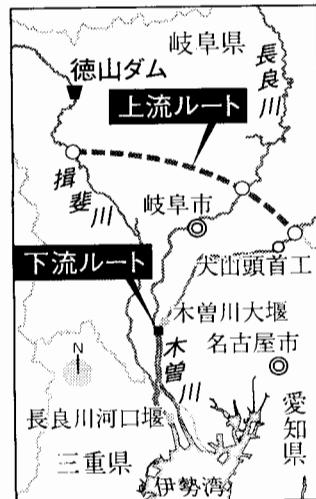


(第3種郵便物認可)



岐阜県が三百十八億円を負担するのは違法として、導水路建設に反対する愛知県内の住民グループが三月にも県監査委員に県費の支出差し止めなどを求める住民監査請求をする。

この事業では、岐阜環境悪化などを懸念し、県内の住民グループが反対運動をしている。

愛知県は二〇〇九年度予算で大幅な財源不足が生じる見込み。全国的にダム建設見直しの動きも広がる中、巨大事業に巨額な税金をつぎ込むことをめぐらわった在間正史弁護士

「導水路はしない」愛知の会の準備会

の加藤伸久事務局長

(名古屋市瑞穂区)

木曽川まで引く利水目的で導水路建設に期

待。同事業は渴水時には放流で木曽、長良両河川の水量を確保する

目的もあり、岐阜、三

重両県は治水目的で事

業を推進している。

請求では△水の需要

は頭打ちで新規利水の

必要はない▽水量確保

の根拠が科学的でない

こと主張する方針。

在間弁護士は「導水

路は河口堰や徳山ダム

という無駄な事業に

さらに無駄を重ねただけだ」と批判してい

徳山ダム導水路

反対派住民監査請求へ

「愛知県の318億円負担違法」



木曽川水系連絡導水路事業

徳山ダムの

下流から木曽川まで直径4m、全長43キロの地下トンネルで結ぶ計画。

水の一部は長良川を経由させ、下流からパイプラインで水を木曽川に戻す。水資源機構(さいたま市)が国から事業を引き継ぎ2015年度の完成を目指す。08年度着工の予定だったが、09年度に遅れ込む可能性が高い。総事業費は890億円で、国と愛知、岐阜、三重各県、名古屋市が負担する。